

2012年11月30日

地域政党 京都党

代表 村山 祥栄 殿

わが党の立候補予定者へのアンケートについての連絡

日本共産党京都府委員会

委員長 渡辺 和俊

御党からわが党の総選挙立候補予定者に、「貴殿の選挙公約についてのアンケートのお願い(依頼)」が届けられていますが、これには回答しない旨を連絡させていただきます。

言うまでもなく選挙戦は、政党と候補者が政策・争点を示して、有権者の審判を仰ぐ、民主政治の重要な場です。わが党とわが党の候補者は、従来からその立場で臨んできました。

この総選挙においても、すでにわが党中央委員会は、「総選挙政策 日本共産党の改革ビジョン」を発表し、ホームページにもアップしています。わが党の京都の各立候補予定者も、様々な方法で、総選挙の政策・争点について見解を明らかにしています。

とりわけ、わが党や立候補予定者に、有権者個人や様々な団体から、政策・争点にかかわるご質問があった場合には、「公開質問状」へのご回答も含めて、誠実に対応しています。

ところが、選挙戦に際して、政党が政党にアンケート質問を行うことというのは聞いたことがありませんし、わが党が行なったことはもちろんありません。政党間の関係は、議会内外で大いに公開の政策論争をたたかわせ、有権者の選択を仰ぐというもので、それが公党としての責任です。

なお、政党・立候補予定者間の討論という点では、これまでも、またこの総選挙にかかわっても開催されている各地の青年会議所等が主催される公開討論会に、欠席者がある中でも、わが党の立候補予定者は必ず出席し、有権者に政策を明らかにするとともに、他党の立候補予定者と堂々と討論していることを付言しておきます。

以上